

発行所 京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会（京都総評）
電話 075 (801) 2308 FAX 075 (812) 4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
〈発行責任者〉 梶川 憲 〈編集責任者〉 吉岡 勝

京都労働相談センター

電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

京都総評



京都地方労働組合総評議会：発行

第 271 号

「国葬」反対の声をあげよう！

19の日行動(街頭演説とデモ)

日時 9月19日(月・祝) 16時30分から

場所 京都市役所前

最低賃金 1500円！ 人間らしく暮らせる賃金と均等待遇・働くルールを！



京都総評第93回定期大会

2022年9月3日(土) ラポール京都ホール

ゆとりある生活と労働の確保を

長引くコロナ禍は社会の矛盾を顕在化させてつづき、弱肉強食による企業利益を最優先し、自己責任を押し付けて公共の力をそぎ落としていく新自由主義路線を継続するか、それとも新しい社会

第93回定期大会

への転換に踏み出すかが問われている。ロシアによるウクライナ侵略に乗じて改憲、軍事費2倍

京都総評は、9月3日にラポール京都で第93回定期大会を開催しました。コロナ感染が拡大している状況を踏まえて、今回も午後のみの日程とし、委任状対応を要請して出席人数を減らすなどの対応を行い、代議員、役員など約110人が参加しました。大会には、全労連、全労協、日本共産党、新社会党、京都府商工労働観光部長、京都市長、京都弁護士会会長など、多数の祝電・メッセージが寄せられました。限られた討論時間の中でも活発な討論が行われ、2022年度運動方針を採択し、新役員を選出しました。また、大会名で「国葬反対」の声明を发出し、政府に送付することを確認しました。

化、核の共有など「戦争する国づくり」へすすむのか、これらの策動を許さず憲法がいきる社会をめざすのが問われる歴史的使命のもとで行われた大会です。大会では、梶川議長のあいさつにあたり、柳生事務局長が2022年度運動方針案、秋季年末闘争方針案などの提案を行いました。

2021年運動方針案で、5つのスローガンのもと、8時間働けば普通に暮らせるディーセントワークの確立、労働者の権利と生活の向上、平和で住み続けられる地域の確立に向けて、①

すべての労働者のゆとりある生活と労働の確保、②地域の「公共」を取り戻し、持続可能な地域循環型の経済・社会の確立、③平和憲法をいかに制度への転換をめざし、単産・地域が力を合わせて取り組むをすすめることを提起しました。



秋から賃上げ求めて運動を

2022年秋季年末闘



争でたたかいたの柱として、①すべての労働者の賃上げ・底上げをめざし、23春闘につながる運動を秋から強化する、②このうち暮らしを守る社

会保障制度の確立に向けて奮闘する、③大軍拡・軍事大国化を許さず、憲法を守りいかに社会に向けてたたかう、④物価高騰やコロナ禍で困難を抱える労働者の対策に取り組む、⑤自治体の役割発揮を求め、自治体闘争を強める、⑥組織拡大・強化に全力をあげる、の6点を提起し、単産・地域力を合わせて取り組みをすすめるよう呼びかけました。

安倍元首相の国葬の中止・撤回を
政府は9月27日に安倍元首相の国葬の世論を大きく取り組むを急いで強めよう。(YA)

京都総評議長 梶川 憲



この政治との対決は、この

元首相の国葬を強行しようとしていますが、開催する法的根拠もなく、数十億円ともいわれる予算を国会にもはからずして、府省庁に用意を強要するなど断じて許せない政治の私物化です。そして、政治を私物化した元首相の国葬ですから二重の国民への背信行為です。大会では「大会の名で国葬の中止を求める声明を发出し、政府に送付することを提案、確認されました。(声明は4面に掲載)

「いまでも、軍事費をいのちと暮らして回せ」と声をあげ、世界的に回せと声をあげ、世界の反戦・平和運動と連帯する、私たち労働組合が、その先頭に立つてはありませんか。おおいに奮闘する決意をのべ、挨拶とします。

人間らしく労働と命が守れる社会へ 団結して声をあげよう

「岸田首相の安倍政治」との対決
長引くコロナ禍、感染に向き合う持続可能な体制とルールが、社会にも我々にも不可欠です。人間らしい労働と命が守れる社会づくりへ、団結して声をあげましょう。知事選挙で掲げた内容は、いよいよ大事です。①公共の力を再生して、いのちを守り育むこと、②賃金が減り続ける国から、賃金底上げと地域循環型経

済づくり、③そのために、北陸新幹線も北山エリアも無駄を止めてお金を回すこと、原発を増設や米軍基地はNOと声をあげようではありませんか。秋のたたかいは、「岸田政権の安倍政治」との対決です。岸田首相が、安倍政治を宣言しようと言ったのが「国葬」です。法

問のたたかいで潮目を変えました。1つ目は、賃金上がる国、みんなが人間らしく暮らせる社会はつくれるということです。2つ目は、国際社会がロシアの侵略・ウクライナ戦争を止めようとしている時に、日本が「戦争する国」にならないことです。改憲も国葬も、世論が変わりだしています。

「いまでも、軍事費をいのちと暮らして回せ」と声をあげ、世界的に回せと声をあげ、世界の反戦・平和運動と連帯する、私たち労働組合が、その先頭に立つてはありませんか。おおいに奮闘する決意をのべ、挨拶とします。

TUBUYAKI

汽車、電車、列車の違い？分かりますか。鉄道が日本に登場したのは明治5年の新橋〜横浜間の開業です。当時は蒸気機関車が客車や貨車を引っ張って走るのが一般的で、このようにして走る編成を「汽車」と呼びます。日本で最初の電車は、明治28年に琵琶湖疎水を使った水力発電で出来た電氣を使った京都市電です。「電車」は電氣で走る車両のことです。▼列車とは線路を運転する目的で編成された鉄道車両で、駅間の線路上を走っている車両はすべて列車です。▼今、日本中を走っているローカル鉄道が大きな岐路に立たされています。人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルスによる乗客の減少、マイカーの普及で生活スタイルが大きく変化し鉄道離れが進んでおり、鉄道だけでなく運輸業界全体の課題です。▼JR西日本は「ローカル鉄道のあり方に関する提言」を発表しましたが、弱者切り捨て・利益優先ではなく、考え方一つ変えれば赤字路線から黒字路線へと成功させた事例もあります。運行の安全確保も含め、公共交通の役割をどう果たすか、国を動かす地域と共に考え行動していかねばならない。(YA)

弔意押し付けの国葬反対

緊急学習会で行動よびかけ

27日、「どうみる国葬」緊急学習会（主催：教育府民会議）が開催され、オンラインと現地73人が参加しました。福山和人弁護士は講演で、国葬閣議決定の何重も問題点が指摘されました。

国葬は法的根拠がない

福山弁護士は、「今回閣議決定された国葬の最大の法的な問題は、法的根拠がないこと。天皇については皇室典範で天皇の礼が定められ根拠が大会名での国葬中止・撤回を求める声明 政府に送付しました

あると云えるが、国葬令はすでに失効している。岸田首相は内閣府設置法の「儀式」の一環として行うとしている。しかし、内閣府設置法は組織法であり、その機関がどんな仕事をするのか定めているもの。三権の一部

に過ぎない内閣が決めたと云って、国家行事を執り行うのは解釈に無理がある」と解説しました。



国葬反対の宣伝（19の日行動）

いるにも関わらず無視している。予備費から2・5億円の支出と言っているが、災害など不測の事態に備える予備費から、法的根拠や緊急性もない国葬への使用は問題」と厳しく指摘。さらに、思想良心の自由への侵害・平等原則違反などの問題点、二つに割れる世論・民意を無視した強行は国民主権の侵害にあたる」と、憲法の原理からも逸脱していることを強調しました。

国葬中止を求める運動を

参加者からは、「税金が使われることが納得できない」「国葬は当たり前だ」という論調のキャス

ターやメディアがそういうムードを作っていく危険性がある」「統一教会の問題が出てから国葬について世論が一気に広がった。政治は誰にためにも、何のためにあるのか注目を集め、世論を引き上げた面があると思う」など発言がありました。福山弁護士は「統一教会と国葬の問題は区別して考える必要がある。条件がクリアされるのであれば国葬はありえなくない。基準がないままにこんなことを国葬しているの？という異議が広がった。今回はあまりにも問題がありすぎるのではないかと思っている」と講演を締めくくりました。

教育府民会議事務局から、国葬中止を求める署名を広く、弔意表明を押し付けたいよう求める各市町教委や学校長への要請行動がよびかけられました。

【声明】

2022年9月3日

安倍元首相の国葬の中止・撤回を求める。

京都地方労働組合総評議会 第93回定期大会

岸田政権は、国民多数の反対の声に背き、安倍元首相の「国葬」を強行する構えである。さらに、岸田首相は葬儀委員長として9月27日の国葬当日に、府省庁において弔旗を掲揚し、葬儀中の黙とうを指示することを確認した。このことは、事実上、公的機関と自治体、国民への弔意の強制につながる危険をはらむ大問題である。

本国葬は、法的根拠が無く、憲法で定める財政民主主義に反し、思想良心の自由を侵害するものである。よって我々は、安倍元首相の国葬の中止・撤回を強く求めるものである。

以上

公務員賃金の改善を

京都府・京都市 人事委員会要請行う



人事委員会勧告に向け、京都総評として京都府・京都市人事委員会要請を行いました。



(上写真)京都市人事委員会への要請団
(下写真)京都府人事委員会に要請書を手交

「公務員賃金の改定が民間労働から実態を含めて発言し、要請しました。

者や府民生活に直接的に影響を及ぼす」「公務員賃金の改善が今こそ必要」だと民間労働の役員から実態を含めて発言

軍事費増より、国民生活支援を!

国葬反対! 改憲許すな!

—高齢者怒りの行動—

京都総評傘下の労働組合の「退職者会」などが結集する京都高齢者退職者協議会（京都高退協）は、毎月第一金曜日に

「9条改憲NO」「国葬反対」「75歳以上の医療費2倍化は中止を」などのプラカードをか



高齢者怒りの行動（8月5日）

「高齢者怒りの行動」として宣伝行動に取り組みをしています。長引くコロナ禍で、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されている時は中止せざるを得ませんでしたが、最近は何もが安心して暮らせる社会、戦争する国づくりに許さず憲法が生きる社会をめざして、高齢者・退職者もがんばりま

かけて、高齢者の心意気を示す宣伝行動になっています。若い人も、現役労働者も、そして高齢者も、誰もが安心して暮らせる社会、戦争する国づくりに許さず憲法が生きる社会をめざして、高齢者・退職者もがんばりま

映画『時の行路』...鑑賞券 前売券1,200円...

当日：一般1,800円、シニア1,200円

時間 9月9日(金)~29日(木)
9日~22日 ①10:30
23日~29日 ①12:30

場所 京都みなみ会館

2008年末のリーマンショック後の「派遣切り・非正規切り」に対して、労働組合を結成してたたかう労働者（JMITUの組合員がモデル）の姿を描いた映画「時の行路」。ぜひご覧ください。

撮っておき



あなたの撮っておき 写真募集中!
【応募方法】①画像1枚 ②タイトル、③コメント1000字程度、④お名前、⑤所属、⑥プレゼントの送り先を書いて、京都総評までメールでお送りください。掲載された方には図書カードを贈呈します。

私のお気に入りの

それもお気に入りの

緑の下(大木の中)の	力持ち	+	花田 善臣
相模地方労働組合協議会			

た。：「緑の下の力持ち」の方々の「労働」があればこそでした。（画像には2名おられます）